

教科用図書選定に関する経過報告書

第九地区教科用図書採択協議会

第九地区内の市町立小・中学校及び特別支援教育諸学校の小・中学部において使用する教科用図書を公正かつ適正に選定するために、第九地区教科用図書採択協議会を設置するとともに調査研究を重ね、選定業務を完了した。

以下、公正かつ適正な選定に至るまでの経過、結果及び理由並びに採択協議会委員名及び選定委員会総括部会委員名を明らかにする。

1. 本協議会並びに諸委員会の経過

(1) 第九地区教科用図書採択協議会

- ・4月10日(水) 令和元年度第九地区教科用図書採択協議会委員員について、平成30年度事業報告、平成30年度決算報告及び監査報告、第九地区教科用図書採択協議会規約、第九地区教科用図書採択協議会の文書開示に関する要項、教科用図書採択事務運営要項、教科用図書採択協議会事務局の組織について、選定委員会委員の選考、令和元年度第九地区教科用図書採択協議会予算について、令和元年度第九地区教科用図書採択日程について等の検討
- ・4月25日(木) 学識経験者、保護者代表、選定委員会委員の選考等を審議の上、決定等
- ・5月15日(水) 見本本巡回展示を計画
- ・5月21日(火) 選定委員会委員に対して調査審議を委嘱
- ・7月30日(火) 選定委員会の答申を受け種目ごとに一種の小学校及び中学校教科用図書を選定
- ・7月30日(火) 第九地区内の市町教育委員会に選定の結果を通知

(2) 選定委員会

- ・5月21日(火) 採択協議会の諮問を受け日程等の確認、また、各学校への意見書提出要請を計画
- ・7月11日(木) 教科用図書採択に係る各学校からの意見書集約
- ・7月12日(金) 小学校調査研究部の調査研究結果の報告と質疑
- ・7月24日(水) 学識経験者、保護者意見聴取答申案作成
- ・7月30日(火) 種目ごとに原則として三種以上の小学校及び中学校教科用図書を採択協議会に答申

2. 選定の結果（小学校）

教科用図書 教科（種目）		発行者の		書名	備考
		番号	略称		
国語	国語	38	光村	国語	
	書写	2	東書	新しい書写	
社会	社会	17	教出	小学社会	
	地図	46	帝国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳	
算数		116	日文	小学算数	
理科		4	大日本	たのしい理科	
生活		4	大日本	たのしい せいかつ（上） なかよし たのしい せいかつ（下） はっけん	
音楽		27	教芸	小学生の音楽	
図画工作		116	日文	図画工作	
家庭		9	開隆堂	小学校 わたしたちの家庭科5・6	
体育		208	光文	小学ほけん 3・4年 小学保健 5・6年	
外国語		9	開隆堂	Junior Sunshine	
道徳		2	東書	新訂 新しいどうとく	

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シ リ ー ズ)
	番 号	略 称	
国語	38	光村	国語

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・ 学習指導要領の国語科及び各学年の目標達成に結びつく内容になっており、児童の発達段階に即して単元を配列している。
- ・ 各単元・教材のねらいを明確にし、基礎的・基本的な内容が身に付くよう系統的・段階的に位置づけ、2学年にわたって習得と活用を繰り返しながら学習できるようにしている。

(2) 内容の取扱い

- ・ 「話すこと・聞くこと」については、「聞く」「話し合う」「話す」活動をバランスよく配置している。また、「対話の練習」や「コミュニケーションコラム」を位置づけ、日常生活に生きる対話する力を育成できる内容である。
- ・ 「書くこと」については、相手や目的を明確にした様々な種類（レポート、紹介文、推薦文、報告文等）の文章を書く活動を系統的に位置づけている。また、2年生以上には、「情報」教材と「書くこと」と関連させて位置づけ、学習した技能を活用できるようにしている。
- ・ 「読むこと」の説明文については、「読む」と「書く」の複合単元を2年生以上の2学期に設定している。また、3年生以上の1学期に、2教材構成を設定して、学んだことを活用できるようにしている。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・ 読書活動推進のため、単元末や巻末付録で450冊を超える図書を紹介している。
- ・ 特設単元「言葉」を設けて言葉の特徴や使い方の説明したり、短歌や俳句、落語や故事成語等多種多様の伝統的言語文化に触れることができる内容を設けたりして、語彙を豊かにできるよう配慮している。
- ・ 全ての学年の巻頭に「学び方」の明示、各教材の後には、学習過程や対話活動についてイラストを使って明示する等、主体的な学びが行えるよう配慮している。

(4) 分量

- ・ 発達段階に応じた分量（単元数、教材数、領域ごとの分量）であり、適切である。

(5) 使用上の便宜

- ・ 表やグラフ、挿絵や写真等を適切に、効果的に用いている。
- ・ 各単元ごとに身につけたい力を「たいせつ」というコーナーにまとめている。また、学習の確認ができるように、巻末には「たいせつ」と学習用語を一覧にして掲載している。
- ・ 2次元コードにより、学習の参考となる資料が閲覧できる。

(6) 印刷・製本等

- ・ 表紙・装丁・文字の大きさ、字体、行間、色使い、印刷なども適切である。

3 選定した教科用図書

種目	教科書		教科書名(シリーズ)
	発行者の 番号	略称	
国語(書写)	2	東書	新しい書写

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- 各学年の書写の目標達成に向けて、教材には児童の発達段階を踏まえた適切な内容が盛り込まれ、系統的・発展的に学習できるように示している。

(2) 内容の取り扱い

- 学習過程を4段階で示し、単元末に「活用力」をつける内容を設定し、日常化を図る配慮がある。
 - 1年：日記 句読点 「 」 持ち物の名前の書き方 数字 昔話を書く
 - 2年：連絡帳 観察カードの書き方(縦書き・横書き) いろはうた
 - 3年：原稿用紙 実験記録 小筆での名前の書き方 読書記録カード 俳句 はがきの書き方 封筒
 - 4年：新聞の書き方 棒グラフの書き方 年賀状 罫線なしの縦書き・横書き 百人一首
 - 5年：横書きのノート of 書き方 目的にあった筆記具の学習 情報を分かりやすく効果的に伝える書き方 リーフレットの書き方 古文(竹取物語、奥の細道、枕草子)
 - 6年：目的に応じた書く速さ メモの取り方 聞き取りメモ インタビューメモの取り方 用紙にあった文字の大きさ ポスター 漢詩
- 入門期としての姿勢、筆記用具の持ち方を図・写真で示し、分かりやすく説明している。
- 硬筆は、1・2年で点画・筆使い、3・4年で字形の整え方、5・6年で配列に重点を置き、毛筆は、3・4年で点画の筆使いや筆圧、5・6年で字配りや点画のつながり、穂先の動きに重点を置き構成している。

(3) 内容に関する配慮事項

- 児童の発達段階を踏まえた、簡明な筆遣いの文字を選んで掲載し、学年ごとに指導内容を重点化し、発達段階に応じて系統的に単元を配列している。
- 「書写のかぎ」と銘打って書写学習の原理原則を分類して、3年生以上はインデックスの形で表示している。
- 硬筆では全学年を通して「課題をつかむ→毛筆で原理原則を見つける→他の硬筆文字で活かす」という課題解決的な学習の流れを提示し、深い学びに導く内容である。

(4) 分量

- 1年生は4単元、2年生は3単元、3・4年生は9単元、5・6年生は8単元で構成され、児童の発達段階に応じた教材数で、書写に関する資料も取り上げられるなど適切な分量である。

(5) 使用上の便宜

- 左きき用の指導内容があり、色覚多様性にも対応し、色使いが優しくすっきりとしている。

(6) 印刷・製本等

- 表紙、挿絵、写真、文字などの印刷は鮮明で見やすく分かりやすく、文字の大きさや字体、製本等は適切である。

3 選定した教科用図書

種目	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
社会科	17	教出	小学社会

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・学習指導要領の目標、内容、内容の取扱いを踏まえたもので、全学年を通じ、発達段階において無理なく各学年の目標を達成できるものである。

(2) 内容の取扱い

[3年]

- ・生活科との接続・連携に生かせる特設ページがあり、また「やってみよう」「次につなげよう」などの項目があり、関心を継続させる工夫がある。
- ・学習の進め方が、「つかむ」「調べる」「まとめる」「次の学習につなげる」と示されており、問題解決の過程がわかりやすい。(他学年も同様)

[4年]

- ・巻頭に特設コーナー「他の教科とのかかわり」があり、教科横断的に学ぶ社会科の特性を児童に意識づける上で有効である。
- ・「わたしたちの県のまちづくり」として福岡県が取り上げられており、東峰村、太宰府市、岡垣町のことを題材としている。

[5年]

- ・工業生産の学習では、福岡県苅田町の自動車工場を取り上げ、身近でとらえやすい内容になっている。
- ・環境保全の単元では、北九州市の公害克服や環境都市をめざす取組などを事例として取り扱い、産官民によるしくみと働きが明確にとらえられる工夫をしている。

[6年]

- ・政治単元、歴史単元、国際単元への効果的な接続を考慮し、政治単元では具体的な人物を、歴史単元では参政権の拡大を、国際単元ではオリンピック・パラリンピックを導入教材にしている。
- ・歴史単元においては、折り込み・見開きの年表や日本列島の歴史的な出来事や人物、建築物などを描いたイラストマップのページを設定している。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・「学びのてびき」において、重視すべき学習技能について、系統性を考慮して配置している。
- ・教科書の冒頭に社会科の学習の進め方として「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」のサイクルを示している。「まとめる」では、書き込み式で単元のまとめをすることができる。
- ・毎時間のキーワードが示されており、児童が自分自身でまとめを書きやすいようにしている。
- ・学んだ事実を根拠にして自分なりの考えを表現し合う「選択・判断」や「構想」の学習場面において、実際に取り組みやすい例を示している。

(4) 分量

- ・分量は、学習する学年に応じ、適切である。

(5) 使用上の便宜

- ・見開き2ページを1時間の授業で扱うようになっており、「この時間の問い」でめあてを示すことに加えて、「次につなげよう」という次時への見通しをもてるような工夫がされ、社会的な見方・考え方を働かせる学びを促している。
- ・まなびリンクのマークが示されている箇所では、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。

(6) 印刷・製本等

- ・印刷・製本は汚れ等もなくしっかりしている。色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ・見やすさ、読みやすさに配慮し、本文が「UDデジタル教科書体」、それ以外に用途に応じた「ユニバーサルデザインフォント」を使用している。
- ・各学年1巻構成のため、児童の負担軽減のため軽量で裏写りの少ない紙が使用されている。
- ・エコマーク認定の植物油インキ、再生紙を使用している。紙質がよく、ページがめくりやすい。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
社会 (地図)	4 6	帝国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・各学年の学習内容に必要な地図資料・統計資料が適切に取り上げられている。
- ・環境問題，国際化，世界遺産，自然災害と防災等の現代社会に対応した内容となっている。
- ・国土の学習に必要な地形・気候，産業などを適切に扱っている。

(2) 内容の取扱い

- ・「日本の自然のようす」「日本の産業のようす」等の学習を写真やイラストで示し，地図帳を使って興味深く学習できるようにしている。特に，「日本の歴史と世界文化遺産」では，年表と地図，写真を対応させて載せている。
- ・日本の地方別地図のページには，「広く見わたす地図」と「各地方の詳細な地図」がある。その地方の特徴的な文化遺産や地形などのイラストが添えられている。
- ・「日本の領土とそのまわり」では，国の範囲について説明すると共に，写真を掲載して領土問題について説明している。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・「地図ってなんだろう」や「地図のやくそく」等が掲載され，3年生からの地図を使った資料活用能力の育成を図っている。また学習コーナー「トライ!」「地図マスターへの道」や二次元コードによるコンテンツメニューを掲載しているなど，主体的な学習への対応も見られる。
- ・「自然災害と防災」では，日本近隣の地図と共に写真も付けて掲載している。さらに，さまざまな災害を防ぐ工夫や自らの防災意識を高めるための防災マップづくりを例示して，作成のプロセスや留意点を示している。

(4) 分量

- ・分量は120ページ，国土や産業などの学習に必要な資料が多く，適切な分量である。
- ・巻末近くには，自然や産業，歴史，世界との結びつきなど，さまざまな地図を掲載し，各学年での活用が図れるようになっている。

(5) 使用上の便宜

- ・A4判で，地図や文字，データも大きく見やすく情報量も多くなっている。
- ・市街地・田・畑などが分かる土地利用表現と地形の分かる高さで色分けした表現，起伏を表す陰影で読みやすいように工夫している。
- ・世界の地域別地図のページには，その国の特徴的なものをイラストで示したり，写真を載せたりして，興味深く学習できるようにしている。また，貿易船の主な航路を示し，日本と世界とのつながりを示す工夫をしている。

(6) 印刷・製本等

- ・環境問題に配慮して，全ページ再生紙と植物油インキを使用している。
- ・ユニバーサルデザインの観点から，色覚特性に配慮した色づかいである。
- ・表紙は長期間使用に耐え得る丈夫な紙を使用し，製本がしっかりしている。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書目 (シリーズ)
	番号	略称	
算数	116	日文	小学算数

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・学習指導要領に基づき、教科の目標に結びつく内容が記載されている。
- ・内容の程度も学年に応じて適切であり、単元構成や数学的活動も適切に位置づけられている。

(2) 内容の取扱い

- ・「A数と計算」領域では、単位のいくつ分や位でみるなどの中核となる見方・考え方を丁寧に扱っている。
- ・「B図形」領域では、構成要素に着目して意味や性質を見出し、確かにする操作や作図等が適切に配置されている。
- ・「C測定」領域では、対象によって単位や測定方法を判断する内容や単位換算の内容を適切に扱っている。また、「C変化と関係」では、2量の関係を数直線図等と対応させ、関係の考察や立式の根拠を適切に説明している。
- ・「Dデータ活用」の領域では、身近な事象をもとに、目的意識を大切にされた内容になっている。データをよむ活動を十分に設定している。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・単元前の「次の学習のために」のページでは、既習の学年や単元名が明記してあり、学習の系統性が分かるとともに、振り返りができるように配慮されている。
- ・3年生以降の乗法・除法では、数直線図を適切に扱い、倍概念を系統的に積み上げることができるように配慮されている。
- ・図形を構成するプログラムを作る活動が新たに組み込まれるなど、プログラミング学習に対応した内容が載っている。

(4) 分量

- ・全体の分量は、各学年のねらいが達成できるように構成されており、領域のバランスもよい。

(5) 使用上の便宜

- ・巻頭に教科書の使い方とノートの書き方例が記載され、学び方の習得とともに、一人学びに生かせる構成になっている。
- ・単元導入時に板書を書いたページがあり、表のページや閉じたページには多様な視点や方法が示され、裏のページや開いたページには問題解決の実際が載っているので、主体的な学びを促すつくりになっている。
- ・単元末に学習内容を確認する「わかっているかな？」や単元内容と生活をつなぐ「Hello! Math」、単元の枠を超えて学びを生かす「活用」など、習得や活用を確かにするコーナーが豊富にある。

(6) 印刷・製本等

- ・色使いが工夫されており、絵や図、写真の量も適当である。
- ・文字や図の大きさが明瞭である。また、文字数や説明の量は必要最小限にしてあり、すっきりしている。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書目(シリーズ)
	番号	略称	
理科	4	大日本	たのしい理科

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・理科の目標達成に結び付く内容で、内容の範囲と程度はその学年の児童の発達段階に適応している。

(2) 内容の取扱い

- ・理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことができるように、自然の事物・現象について身近なものから導入が行われており、子どもたちに理科に対する関心を深めさせる工夫がある。
- ・「問題→予想→計画→観察・実験→結果→考察→結論」の順に「理科の学び方」を示して、主体性をもって問題解決的な学習ができるように配慮されている。
- ・主体的・対話的な学びになるように、「予想」や「計画を立てよう」で、考えるヒントがイラストや文章で例示されており、思考力や表現力が発揮できるような内容である。
- ・話し合いの場面において、キャラクターが理科の見方・考え方を働かせた発言の例を掲載している。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・言語活動の充実を図るために、単元の最後に獲得した知識や科学的な見方・考え方をを使って説明する問題が載っている。
- ・すべての学年で「〇年生で学んだこと」という、既習事項を示しており、系統を明らかにするとともに、その単元で使う見方・考え方をもちこたせる工夫をしている。
- ・安全面の配慮に関しては、「実験」の内容の部分に、赤字で注意すべき内容に関する説明が明記されている。

(4) 分量

- ・全体の分量は、授業時数から見て適切であり、各領域偏りなく掲載されている。

(5) 使用上の便宜

- ・掲載されている写真は見やすく、その単元で押さえない言葉に関しては、他の文字より太字で協調してある。
- ・導入のページでは、見開きにわたってその単元での課題を見つけるための写真が大きく掲載されている。
- ・ページがめくりやすく、1ページの情報量が適切である。
- ・各単元の終末に発展的な内容が掲載されており、児童の関心・意欲を高める工夫がある。

(6) 印刷・製本等

- ・植物油インキが使用され、表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工されている。
- ・文字は見やすく、読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。
- ・サイズはAB判で、各学年とも通年を通して1冊で構成されている。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
生活科	4	大日本	たのしい せいかつ 上 なかよし たのしい せいかつ 下 はっけん

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- 学習指導要領の目標・内容に即し、多様で具体的な活動・体験について、児童の興味・関心や発達段階に応じた内容になっている。
- 学校・地域の実態に配慮し、適切に対応できるよう季節に沿って、上巻、下巻合わせて9単元で構成・配列されている。

(2) 内容の取扱い

- 無理のない状況設定を心がけ、身近な人々との関わりが活動を通して自ずと生まれ、深まっていくような内容で、多様な人をバランスよく取り上げている。
- 継続的な飼育・栽培活動で、生命の尊さを実感できるよう工夫されている。
- 自分と地域の人々、社会及び自然がつながりあうものとして示され、児童の思いや願いに沿った必然性のある学習活動や展開となっている。
- 体験活動と表現活動が繰り返される構成にし、気付いたことや楽しかったことなどについて、多様な方法で表現し、考えることを通して、気付きの質を高める活動の流れが工夫されている。
- 見つける・比べる・たとえる・試す・見通す・工夫するなど多様な学習活動を通して新たな気付きを生み出し、深い学びに導くよう工夫されている。
- タブレットPCを使って活動中に記録を撮る、拡大して観察する、振り返る場面や発表時に電子黒板を使用するなど、活動をより深めるためにICT器機を活用する場面を適切に例示している。また、無料のデジタルコンテンツがあり、活動の参考資料を準備している。
- 巻末の資料「がくしゅうどうぐばこ」に豊富な資料を記載し、児童が活動に即して基本的な知識や技能の習得が図られるよう配慮している。

(3) 内容に関する配慮事項

- 他教科の学習と生活科の活動が相互に関連するようマークを入れ、スタートカリキュラムの編成や合科的・関連的な指導、弾力的なカリキュラム編成ができるよう工夫されている。
- 友達との話し合い場面を取り上げ、「はなしかためいじん」「ききかためいじん」を示し、児童の言語能力が育まれるよう配慮されている。
- 単元の導入は見開きのダイナミックな写真で構成され、児童の興味・関心を引き出し、児童の思いや願いをもとに、主体的な活動が始まるよう工夫されている。
- 身体表現やカード、歌、劇など様々な表現方法を紹介し、豊かな表現力が身に付くように工夫したり、2種類の記述用カード(行とマス目)を例示し、児童が選択できるよう配慮したりしている。
- 安全・衛生面の注意を目立つように示し、巻末資料「がくしゅうのどうぐばこ」では、交通安全、自然災害、防犯について取り上げ、身を守るための習慣や技能が身に付くように配慮されている。

(4) 分量

- 上：4単元103ページ(がくしゅうのどうぐばこを含む129ページ)
- 下：5単元105ページ(がくしゅうのどうぐばこを含む137ページ)

(5) 使用上の便宜

- 1つの活動の例示を見開きで構成し、小単元名、本文、吹き出しの活用、写真やイラスト及びキャラクターなど、バランスよく配置することによって、活動のポイントを児童が的確に把握できるよう配慮されている。
- 裏表紙に、発展的な内容が分かるように明示されている。

(6) 印刷・製本等

- カラーユニバーサルデザインに配慮し、写真や図版などをきれいにみることができる。
- 紙を薄くし、重さを軽減している。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書目 (シリーズ)
	番号	略称	
音楽	27	教芸	小学生の音楽

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・音楽科の目標達成に結びつく題材が取り扱われている。
- ・内容の程度は、学年の発達段階に適應するように考慮されている。
- ・各学年、全学年を通して、系統的・教科横断的に内容が配列されている。

(2) 内容の取扱い

- ・音楽のよさを感じ、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりできる内容である。
- ・他者と協働しながら音楽表現を生み出せるように、合奏や合唱において「合わせよう」で取り扱っている。
- ・生活や社会の中の音や音楽の働きについての意識を深めるために、5・6年生の裏表紙に音楽や人との関わりについて紹介している。
- ・我が国や郷土の音楽に親しみ、よさを味わうことができるように、箏・三味線・三線を学習できるようになっている。
- ・共通教材は、主題による題材構成が中心であり、写真や挿絵、白抜き・縦書きの歌詞で曲のイメージが捉えやすく、歌唱の表現が工夫しやすい。
- ・歌唱については、合唱の技能を育てるための系統性があり、合唱の基礎基本の技能を身に付けたり、思いと技能をつなぐため「歌声」が掲載されている。
- ・器楽の技能については、発達段階を考慮した無理のないステップが踏まれ、打楽器や鍵盤ハーモニカ、リコーダーの持ち方や奏法を写真やイラストで示し、基礎指導を大切にしている。
- ・音楽づくりについては、題材構成の工夫がされており、既習の楽曲をもとに見通しをもちながら、学習が進められるようになっている。
- ・鑑賞については、題材構成の工夫がされており、聴かせたいフレーズを図形楽譜で表し、曲想の変化と音楽の構造との関わりを視覚的に捉えられるようになっている。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・国歌「君が代」を大切に歌ったり他国の国歌を尊重する態度を養ったりする観点で設けられたコラムと楽譜がある。
- ・わらべうたは「歌いつごう日本の歌」から選択できるようになっている。
- ・鑑賞教材について感じたことなどを記入できるワークシートが準備されている。
- ・楽器を清潔に保つために、使用後の取扱いについて説明・図がある。

(4) 分量

- ・低学年83ページ10題材、中学年87ページ9題材、高学年各87ページ8題材。時数の半分が主な楽曲数となっている。
- ・題材、教材の分量及びバランスは各学年の授業時数に配慮したものになっている。
- ・各ページの文章量は適切でオプション部分は〈みんなでのしく〉として掲載されている。

(5) 使用上の便宜

- ・二次元コードが題材ごとにあり、その横に内容の記載がある。
- ・児童が活躍している写真を掲載し、興味・関心をもって音楽活動ができるように配慮されている。

(6) 印刷・製本等

- ・文字、写真などの印刷は、発色がよく鮮明である。
- ・製本は堅牢で長期使用に十分に耐えうる「糸中綴じ方式」で、植物油インキを使用するなど環境にも配慮されている。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書目 (シリーズ)
	番号	略称	
図画工作	116	日文	図画工作

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・ 図画工作科の目標達成に向けて、ねらいが明確であり、造形的な創造活動の基礎的な能力を育てる内容となっている。
- ・ 学習指導要領の趣旨を踏まえた2学年の合本となっており、全学年の学習内容を段階的に発展できる内容構成である。
- ・ 表現に関しては、造形遊び、絵及び立体、工作に表すことの内容のバランスを考慮した構成である。造形遊びの題材では、表現方法の選択ができるようになっており、学校の実態や展開例が示され、学校や児童の実態に応じた学習活動が展開できるようになっている。
- ・ 鑑賞に関しては、造形作品と生活との関わりや作品の展示、鑑賞の場などが紹介され、鑑賞活動の楽しさを味わえるようになっている。
- ・ 各題材以外に、身近なものの形や色の美しさを取り上げ、イメージを広げたり、発想・構想のヒントにしたりできるようなページを設けている。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・ 各題材において「めあて」に、3つの資質・能力が明記されている。
- ・ 巻末「つかってみよう ざいりょうとようぐ」の中で、様々な表現方法のヒントやはさみ、のこぎり等用具の使い方や材料について記述されている。安全面においては、黄色い「！」マークで示し、注意を促している。
- ・ 「ひらめきポケット」は、新しい形や色を探し、発想を広げるように工夫している。
- ・ 道徳と関連させながら、教科横断的な視点に立った学習が計画されている。

(3) 分量

- ・ 全体の分量は適切であり、特に造形遊びの題材が多く取り入れている。
- ・ 1・2年上 67 ページ下 65 ページ、3・4・5・6年上下共に 65 ページ

(4) 使用上の便宜

- ・ 学習のめあて、材料や用具、つくり方、活動の様子が流れに沿って効果的に示されており、造形活動に有効に働くように配置されている。
- ・ 各題材に「きをつけよう」「かたづけ」、巻末にも「きをつけよう」が掲載され、造形活動での安全面の留意事項や片付けの仕方が分かりやすく示されている。

(5) 印刷・製本等

- ・ 表紙はビニル加工で、ミシン綴じが細かくされ、美しく堅牢である。
- ・ 文字や作品の印刷は鮮明であり、文字の大きさ、色、字体、レイアウトが適切である。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書目 (シリーズ)
	番号	略称	
家庭	9	開隆堂	私たちの家庭科5・6

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・ 範囲は、学習指導要領の内容 ABC に適合している。
- ・ 程度は、学年の児童の発達段階に適応している。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・ 教科等と関連する内容を関連マークで示したり、生活の見方・考え方の4つの観点から自己評価し、振り返って成長を感じることができるようになっている。
- ・ 各教科および各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。特に、題材の配列については、題材どうしの関連性を考慮し、学習したことをその後の学習に発展させたり学習意欲をつなげたりしていくように工夫されている。
- ・ 題材については、生活を見つめ、スモールステップでできることを増やすという視点で、体験的な学習や基礎的・基本的な知識および技能を活用した問題解決的な学習が重視されている。
- ・ 学習のめあてを3段階で示し、課題を決めてから実践を評価し改善策を考えるまでの流れをステップ1～ステップ5（課題→計画→実践→振り返り→評価・改善）で分かりやすく示されている。
- ・ 体験学習、実験・実習などは、安全・衛生面が配慮されている。安全マークを目立つ色で明記し、注意を喚起し、取り扱い道具についてだけでなく、作業中の安全に対しても注意を呼びかけている。また、作業中の姿勢や手の動き、手元の様子などを分かりやすく写真で示している。
- ・ 学習内容を確実に身につけることができるよう、個に応じた指導への配慮が示されている。右利き、左利きに応じたはさみ・針・包丁などの持ち方を示している。また、「参考」として、玉結びの方法を一つだけでなく、別の方法を示している。

(3) 分量

- ・ 全体の分量は20題材137ページ（巻末資料含む）で、授業時数から考えて適切である。
- ・ 領域および内容に偏りがなく、調和がとれている。

(4) 使用上の便宜

- ・ 本文、問題、説明文、注、資料、作品、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で関連を持たせてあり、学習の深まりに有効に働くよう配慮されている。
- ・ 二次元コードを取り入れてあり、ほとんどの活動の動画を見ることができ、児童理解が深まるよう配慮されている。

(5) 印刷・製本等

- ・ 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間および製本の様式、材料等が適切である。
- ・ ユニバーサルデザインの視点、特別支援教育の視点に配慮してあり、環境に配慮した用紙やインキ使用の記載がある。
- ・ AB版で、調理例の写真がコンパクトに示されている。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
体育	208	光文	小学ほけん 3・4年 小学保健 5・6年

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・ 保健学習の目標達成に結びつく内容になっている。
- ・ 内容の程度は、学年の発達段階に適応している。
- ・ 学習指導要領に示す教科・学年の目標及び学年の内容に示す事項を不足なく取り上げている。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・ 保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質能力を育成することができる構成になっている。
- ・ 主体的に思考・判断・表現しながら課題を解決していく学習が随所に分かりやすく設けられている。
- ・ 学習指導要領の解説に合わせ、各学年の内容が配列され、所定配当時間内でそつなく内容項目を取り上げることができている。
- ・ 専門用語や当該学年以降に学習する漢字には、初出だけでなく、その都度ふりがなをつけ、児童が学習内容を確実に身に付けるよう配慮されている。
- ・ 3・4年においては、「さらに広げよう深めよう」の中で「手のあらいかた」などの実習を取り上げ、手の洗い方で気をつけることを写真やイラストで示し、安全面や衛生面に配慮されている。5・6年においては、「さらに広げよう深めよう」の中で、「歯の磨き方」などの実習を取り上げ、実習の際の留意事項を具体的にイラストと説明文で示し、安全面や衛生面に配慮されている。
- ・ 提示資料は、今日的な課題で最新の資料を取り上げるようにしており、児童が身近な問題として関心を示し、3・4年6ページ、5・6年15ページと、適正範囲内で、児童の負担は過重になっていない。

(3) 分量

- ・ 総ページ数は3・4年生41ページ、5・6年生65ページで、内容は授業時数から見て適切に配分されている。
- ・ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして教科用図書の内容に適切に配分されている。
- ・ 各領域の内容に偏りがなく、調和がとれている。

(4) 使用上の便宜

- ・ 本文、問題、説明文、注、写真、図などが多様に配置されている。特に、資料は、新しいデータが使われている。
- ・ 「発展」というマークがあり、発展的な学習内容の明示がされている。

(5) 印刷・製本等

- ・ 印刷は鮮明で、イラストや写真・図が多く記載されている。
- ・ 製本の様式はA4サイズであり、再生紙、植物油インキを使用している。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
外国語	9	開隆堂	Junior Sunshine

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・教材の配列は、児童の生活や興味・関心に即した内容に配慮をされており、「聞くこと」「話すこと(発表)」「話すこと(やりとり)」「読むこと」「書くこと」のバランスのとれた内容になっている。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・他教科等の関連がマークで明示されており、中学校への接続を意識した内容や資料が豊富である。5年生から6年生で身近な社会から世界と、かかわりの対象が徐々に広がり、児童の興味・関心、生活体験にあった学習ができるように配列されている。
- ・多様な言語活動をわかりやすいステップで行えるよう仕組まれており、活動に必要な資料等も充実している、
- ・各学年巻頭のCAN-DOリストマップで1年間の学習でできるようになることの見通しを持たせ、しかも各単元末の「ふりかえりをしよう」で自己評価ができるようになっている。また、巻末の「学んだことリスト」等で、5領域における自己の学習状況を把握し、児童が主体的に学習できるように工夫されている。
- ・単元の中に Project 1、2があり、これまで学習した内容を使いながら行うアクティビティがあり、充実したものとなっている。
- ・巻末のローマ字表は、視覚的にたいへん分かりやすい。また、訓令式とヘボン式の間違いやすいところの注意書きがある。

(3) 分量

- ・各学年80ページ(資料等を除く)、2学年合計280ページ(含資料等)、651語で、1ページ45分、あるいは15分のモジュールで取り扱うことができる分量となっている。

(4) 使用上の便宜

- ・巻末に、活動でそのまま使用できる絵カード、「書くこと」用ワークシート等がある。
- ・二次元コードが各ページにあり、音声や映像等を見ることができるようになっている。
- ・発展的なものは「チャレンジ」として明示され、より学習内容を深めるアイデアが掲載されている。(5年生P32,P47,P74 6年生P39,P74)

(5) 印刷・製本等

- ・サイズはA B判で印刷は鮮明、適度な余白、手紙に近いフォントで統一され、見やすい誌面となっている。
- ・「書くこと」のページは専用用紙が使用され、言語活動で使用する絵カードは厚手で、繰り返し使用ができる配慮がある。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
道徳	2	東書	新訂 新しいどうとく

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・学習指導要領を踏まえ、全ての内容項目について学習できるように、適切な話題や題材が取り上げられている。
- ・発達段階に応じ、ねらいを達成する上でふさわしい内容である。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・道徳の学習の進め方が充実（1単位時間、毎時間の指導過程、学習活動の在り方）するように、巻頭に4～8ページにわたって掲載し、説明している。
- ・いじめ問題への対応として、その問題に関わる直接的な教材とその問題をなくしていくために必要な価値を学ぶ間接的な教材を、ユニットとして組み合わせている。
- ・現代的課題（情報モラル、いじめ問題など）に対して、適切に対応した教材の配置がなされている。
- ・全学年にわたって、重点内容（生命尊重、いじめ問題）を設定し、複数の教材を配置し、繰り返し指導することにより、指導の重点化を図っている。
- ・中学年、高学年では、発達段階に応じ、重点とする価値を定め、「問題を見つけて考える」「考えるステップ」を掲載し、子どもが主体的に考え、議論し、判断して、自己の生き方を追求できる問題解決的な学習が展開できるようにしている。
- ・低学年では、基本的な生活習慣に関する資料を、中学年、高学年では、郷土愛や伝統文化に関連する資料を、「付録」として掲載している。
- ・各学年2教材で、「出会う・ふれ合う」を掲載し、ねらいとする道徳的価値について、実践の振り返りを通して、価値を深める構成になっている。
- ・子どもにとって身近な教材を配置し、学習効果が高められるような工夫がなされている。

(3) 分量（ページ数、割合等）

- ・全ての内容項目について取り上げ、学年の発達段階と指導時数から見て、適切な分量である。

(4) 使用上の便宜

- ・授業の中で、印象に残った話や自分の考えたこと、感じたことをメモしておける巻末の「学習のまとめ」により、学期ごとに自己の成長を見つめることができ、評価にも活用できるようにしている。
- ・中学年以上は、どの教材にも、重点的に考える発問と自己を見つめる発問が掲載されていて、焦点化した内容になっている。

(5) 印刷・製本等

- ・印刷は鮮明であり、文字の大きさも適切である。
- ・環境にやさしい植物油インクや再生紙を使用している。

2. 選定の結果（中学校）

教科用図書 教科（種目）		発行者の		書名	備考
		番号	略称		
国語	国語	38	光村	国語	
	書写	38	光村	中学書写	
社会	地理	2	東書	新編 新しい社会 地理	
	歴史	2	東書	新編 新しい社会 歴史	
	公民	2	東書	新編 新しい社会 公民	
	地図	2	東書	新編 新しい社会 地図	
数学		61	啓林館	未来へひろがる数学	
理科		4	大日本	新版 理科の世界	
音楽	一般	27	教芸	中学生の音楽	
	器楽	27	教芸	中学生の器楽	
美術		116	日文	美術1 美術2・3上 美術2・3下	
保健体育		224	学研	新・中学保健体育	
技術・家庭	技術	9	開隆堂	技術・家庭 技術分野	
	家庭	2	東書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野	
外国語		9	開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE	

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
国 語	3 8	光村	国語 (1～3)

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- どの教材も適切であり、目標が達成できるように設定してある。生徒の発達段階に沿った内容であり、教材数や各領域のバランスもよく、系統的である。
- 文学的な文章や古典等は、評価の高い教材を堅実に配置し、説明的な文章は、多様な文種を取り上げ、環境問題や情報化社会等の現代的な題材を多く取り入れている。
- 資料等は各領域で過不足なく配置され、充実していて、量的にも適切である。
- 各学年7つの単元にまとめられ、単元毎の領域もバランスよく構成されている。

(2) 内容に関する配慮事項

- 教材は、生徒の発達段階に即していて、3年間の積み重ねによる確かな学力の育成や主体的な学習を促すものとなっている。
- 各領域の教材が系統的、層状的に配置され、「習得」から「活用」を繰り返す等、生徒の論理的な思考を段階的に養う教材が多い。
- 「学習の見通しをもとう」「学習に取り組む」「次の学習に生かす」という学習のプロセスを明示し、主体的に学習活動の充実を目指せる仕組みになっている。
- 「話す・聞く」「書く」学習については、技能が高められる仕組みになっている。
- 古典導入部の資料は、伝統的な言語文化への関心・意欲を喚起するものである。

(3) 分量

- 本文については、1・2年が230ページ程度、3年が210ページ程度であり、それぞれの1年間で指導する分量として適切である。
- 説明的な文章、古文、詩歌、言語事項など、分量のバランスがよく適切である。

(4) 使用上の便宜

- 古典の原文と対訳文とで書体を変える等、字体の種類が多い。また、イラストや写真、挿絵が適切に挿入されていて、効果的である。
- 「学習を広げる」の中の「資料」「付録」等を、学習の程度に応じて発展的、弾力的に使った学習が展開できる。
- 書き込みが可能な形で漢字と文法の練習問題が用意され、学習の定着が図れるよう配慮されている。
- 巻末に領域毎の基本用語がまとめられている。

(5) 印刷・製本等

- B5判、1ページ17～20行で、全体の色も統一され、見やすい体裁である。
- 1年と2・3年でフォントの大きさを変えていて、文字がはっきりしている。
- ユニバーサルデザインに配慮していて、写真資料が鮮明で美しく教材のイメージをふくらませることが可能である。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シ リ ー ズ)
	番 号	略 称	
書 写	3 8	光 村	中 学 書 写 (一 ・ 二 ・ 三 年)

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・ 国語科の目標達成に結びつく内容になっている。
- ・ 楷書、行書、硬筆、実用書の題材が、バランスよく取り上げられている。
- ・ 書写の基礎的・基本的な内容を系統的に生徒の発達段階に応じて身に付けることができる内容となっている。
- ・ 生徒の関心を高めるために、コラムでは「文字の歴史を探る」や「デザインと文字」、「手書きの力」等の記事を取り上げている。
- ・ 巻末の資料に硬筆の常用漢字の楷書・行書比較一覧表や毛筆補充教材がある。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・ 文字の大小や字の結構について指導しやすいよう詳細に説明されている。
- ・ ①基礎・基本の確認、②毛筆で確認、③応用（毛筆での学習を生かし、硬筆で書く）、④自己評価を行うという配列になっている。
- ・ 資料については、レポート、新聞等学校生活に身近で、総合的な学習と関連させたものや、日常生活に活かせるものが豊富である。
- ・ 主体的な学びができる工夫と学習の進め方がわかりやすく丁寧に解説しており、毛筆からさまざまな硬筆へ無理なく学習できるようになっている。
- ・ 特に、平仮名の（は・ま・ほ・な）等の結びについて字源を意識させた配慮があり、写真を使った説明がある。
- ・ 楷書の範書は兼毫に近い筆で書かれていて、基礎・基本を踏まえている。行書も適度に柔らかい。

(3) 分量

- ・ 総ページ数 119 ページ。（一年：24、二年：16、三年：9、資料編：69）

(4) 使用上の便宜

- ・ 基本運筆については見開きで写真が掲載されている。朱墨や薄墨、イラストで、穂先の動きや筆圧の調節を説明している。
- ・ 執筆の姿勢、用具の置き方、毛筆・硬筆の持ち方、片づけ方の写真等が掲載されているので活用しやすい。
- ・ 硬筆でなぞり書きができる欄があり、文字の特徴がとらえやすい。
- ・ 教材毎にワークシートがあり、活用しやすい。

(5) 印刷・製本等

- ・ 表面ビニール加工、製本 3ヶ所綴じ、活字は見やすい。

3 選定した教科用図書

教科書 種別	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
社会 (地理)	2	東書	新編 新しい社会 地理

4 選定理由

(1) 内容の範囲および程度

- ・ 教科の目標達成に結びつく内容になっている。
- ・ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応している。
- ・ 学習指導要領に示す教科及び分野の目標に従い、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・ 環境・エネルギー、防災・安全、人権・平和など今日的な課題の解決のための意識や態度を育てるために「深めよう」やコラムなどが記載されている。また、地理・歴史・公民の3分野との関連を図ることができるようになっている。
- ・ 各見開きの最後に、説明・要約などの言語活動によって学習内容をまとめる「確認」があり、生徒の思考力・判断力・表現力を育むことが出来るような構成になっている。
- ・ 調べ学習や地域調査に必要なスキルを身に付けさせるために具体的な手順などを示し、自主的・自発的に探究活動が行えるよう工夫している。
- ・ 「地理スキルアップ」を設け、地図やグラフの読み取り方・作り方、写真の読み取り方など地理的技能を身に付ける方法を具体的に示すと共に、確認問題の「ワーク」を適宜設けることで、確実に学習内容を定着できるよう、個に応じた指導への配慮がされている。
- ・ 目的意識を持って地域的特色を学習できるように、世界や日本の諸地域の学習では「概観部」→「展開部」→「終結部」の三段階の構成になっている。
- ・ 日本の領域についての学習では、北方領土・竹島・尖閣諸島について詳しく説明をしている。

(3) 分量

- ・ 目次・索引、巻末資料などを除いたページ数は277ページであり、課題学習・発展的学習を含め、120時間の授業時数に照らし適切に配分されている。
- ・ 単元及び内容に偏りがなく、全体的に調和がとれている。

(4) 使用上の便宜

- ・ 巻末に「用語解説」が設けられ、地理学習を進める上で必要不可欠な用語の理解を図っている。
- ・ 歴史的分野、公民的分野でも活用できる資料には「分野関連マーク」が付され、多面的・多角的な学習を可能にしている。
- ・ 国宝・重要文化財、世界遺産にはマークを付し、伝統や文化に対する理解などを育てられるよう配慮されている。
- ・ 教科書会社のホームページと「Dマークコンテンツ」をリンクさせることにより、教科書に関連した資料や動画等を大変活用しやすくなっており、教師の教材研究や生徒の主体的な学習を進めていく上で有効である。

(5) 印刷、製本等

- ・ 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などは適切である。

3 選定した教科用図書

種目	発行者の		教科書名（シリーズ）
	番号	略称	
社会（歴史）	2	東書	新編 新しい社会 歴史

4 選定理由

（1）内容の範囲及び程度

- ・ 学習指導要領の内容と整合性が図られており、教科の目標達成に結びつく内容となっている。
- ・ 基礎的・基本的事象のみならず、言語活動や課題解決学習等の内容も含まれており、生徒の発達段階に適応した内容になっている。

（2）内容に関する配慮事項

- ・ 各時代の学習の導入を小学校での学習内容を振り返る構成にしたり、分野関連マークにより3分野の関連をわかりやすくしたりすることで、系統的・発展的指導がしやすくなるよう工夫している。
- ・ 1時間の学習のふり返しを行う「確認」が設定され、多彩な活動を通して学習内容を自分の言葉でまとめる言語活動を取り入れている。
- ・ 「スキルアップ」「深めよう」「調査の達人」「わたしたち歴史探検隊」等、学び方や調査の仕方の学習、発展的な学習を通して、体験的活動や思考力・判断力・表現力を高める教材が豊富に配置されている。
- ・ 学習内容を象徴する資料を冒頭に大きく配置することで、生徒の興味・関心を引き出し、学習への意欲を高められるよう配慮している。
- ・ 本文と関連するトピック「歴史にアクセス」、「深めよう」など生徒が興味を持って学習できるよう配慮している。
- ・ 人権・平和・環境・女性など現代社会の課題に関わる記述を充実させ、生徒がこれらの課題に主体的に考え行動できるよう工夫している。

（3）分量

- ・ 全体の分量287ページ（本文271ページ）、授業時数125時間、課題学習・発展学習等に5時間で計画している。
- ・ 単元及び内容に偏りがなく、全体的に調和がとれている。

（4）使用上の便宜

- ・ 「見開き2ページ＝1単位時間」であり、本文記述と図版資料等を一体化して捉えやすくし、学習の基礎基本を確実に習得できるよう工夫している。また、平易な表現で因果関係や時系列などをわかりやすく記述している。
- ・ 本文や資料の位置が一定し見やすい。また、小さい資料は実物大で、大きい資料はサイズを付すことで、生徒が具体的イメージを持って学習できるよう工夫されている。
- ・ 時代感覚を養う「時代スケール」を入れ、常に日本の歴史の流れを意識し、世界の歴史と同時代史的に捉えられるようにしている。
- ・ 教科書会社のホームページと「Dマークコンテンツ」をリンクさせることにより、教科書に関連した資料や動画等を大変活用しやすくなっており、教師の教材研究や生徒の主体的な学習を進めていく上で有効である。
- ・ 巻末に重要語句の「用語解説」を掲載している。

（5）印刷・製本等

- ・ 文字や写真が鮮明である。文字の大きさ・字体、行間、ルビなどが適切である。
- ・ 再生紙、植物油インキを使用している。

3 選定した教科用図書

種目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
社会 (公民)	2	東書	新編 新しい社会 公民

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・ 学習指導要領に示された公民的分野の目標を達成するために必要な基本的な事項・事柄に厳選した適切な内容になっている。
- ・ 現代の社会事象に興味・関心を持たせ、主体的な学習や課題解決的な学習ができる内容になっている。
- ・ 文章表現や内容などが生徒の発達段階に即している。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・ 「現代社会と私たちの生活」を公民学習の導入とし、「個人の尊重と日本国憲法（政治的分野）」「現代の民主政治と社会（政治的分野）」「私たちの暮らしと経済（経済的分野）」「地球社会と私たち」「より良い社会を目指して」の順番で配列されている。
- ・ 小学校での学習を生かした「見通し」と「振り返り」で基礎・基本の定着を図る構造化された紙面構成であり、授業での活用が大変図りやすい。また、段階的な言語活動を意識しており、生徒の学習を無理なくすすめることができる。
- ・ 各章の導入に作業的な学習を設定したり、「公民にアクセス」や「公民にチャレンジ」などを掲載したりすることで、生徒が興味・関心を持って学習に取り組めるように配慮されており、思考力・判断力の向上のために活用することができる。
- ・ 「調査の達人」で、公民の学び方や学んだことの表現方法などについての技能習得ができるように配慮されている。
- ・ 地理・歴史・公民の3分野を関連させて、持続可能な社会の形成に参画する資質・能力を養うとともに、我が国の郷土の豊かな伝統や文化を知り、尊重する資質・能力を高めるための手立てが具体的にとられている。
- ・ 国内外の状況を踏まえて、最新の現代的課題を取り上げることで、国際的な協力・協調が政治や経済の面で一層進んできたことに気づくことができるよう工夫されている。

(3) 分量

- ・ 本文212ページ、学習資料33ページ、索引2ページで適切な分量である。
- ・ 2ページを1単位時間として計画されており、1単位時間の学習内容も適切である。

(4) 使用上の便宜

- ・ わかりやすい文章表現で書かれている。
- ・ 巻末に重要語句の解説があったり、日本国憲法の側注に難解な語句の解説があったりして理解しやすい。
- ・ 学習のまとめに自己評価できる項目を入れてあるのは新しい視点である。
- ・ 教科書会社のホームページと「Dマークコンテンツ」をリンクさせることにより、教科書に関連した資料や動画等を大変活用しやすくなっており、教師の教材研究や生徒の主体的な学習を進めていく上で有効である。

(5) 印刷・製本等

- ・ オールカラーで見やすい。また、目に優しい色使いであり、特別支援教育の立場からの校閲もなされており、全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインされている。
- ・ 文字の大きさ・字体・行間とも適切であり、再生紙、植物性インキも使用されている。

3 選定した教科用図書

教科書 種別	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
地図	2	東書	新編 新しい社会 地図

4 選定理由

(1) 内容の範囲および程度

- ・ 学習指導要領に示す教科の目標に従い、社会科の学習内容に沿った資料を選定し、教科書と合わせて学習することで学習効果が高まるよう配慮されている。
- ・ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応している。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・ 地理的分野の教科書構成に沿って「世界」と「日本」で構成され、それぞれ「一般図」と「全体の資料」と「各州・地方の資料」から成り立っている。
- ・ 歴史的分野、公民的分野でも活用できるように関連する地図や資料が掲載され、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。
- ・ テーマごとに資料を検索できる「資料さくいん」があり、学習内容に適した資料がさがしやすいよう工夫されている。
- ・ 読図のポイントや考察の視点が示されている。また、関連資料を参照しやすい工夫がなされており、多面的・多角的に考察ができるよう配慮されている。
- ・ 防災、文化、環境に関する資料や図の他、社会科の学習内容に沿った資料が豊富で、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。
- ・ 日本の領域については、日本の領土や排他的経済水域を捉えられる地図が掲載されるとともに、近隣諸国と領土を巡る問題を抱えている地域の写真も掲載され、領土についての認識を深められるようになっている。
- ・ 資料は最新のものであり、出所、出典が明示されている。

(3) 分量

- ・ 総ページ数184ページ(索引を含む)で適量である。
- ・ 日本や世界に関する一般図・資料(地図・写真・グラフ)が偏りなく配置されている。

(4) 使用上の便宜

- ・ 地図帳の基本的な見方・使い方を解説したページを巻頭に設けるとともに、具体的な活用例を示し、地図帳の使い方を定着できるようにしている。
- ・ 世界地図には、地球上のどこに位置するのかが一目でわかるように、地球儀をかたどった位置図を掲載している。また、日本地図においても、日本列島のどこに位置するのかがわかる位置図が掲載されている。
- ・ 地図中の地名には、全てふりがなが付してある。

(5) 印刷、製本等

- ・ 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などは適切である。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
数学	61	啓林館	未来へひろがる数学

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・全領域において、基礎的・基本的な事項を重視した内容になっており、数学科の目標を達成できる。
- ・補充的・発展的な問題や課題は、各単元や学年ごとに配慮されている。また、別冊にも各章で学んだ内容と関連のある内容や各章の学習を活用した場面を取り上げ、様々な子どもの実態に合わせる内容になっている。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・本編では、基礎的・基本的な内容だけでなく「数学広場」を設け、補充的な問題や発展的な内容を巻末に掲載している。
- ・別冊では、各章に関連する既習の内容や活用場面を提示し、探究的な学習の教材としても使用できるように工夫している。
- ・学習の内容や問題は、身近な事象を題材に取り上げている。また、「千思万考」や「数学展望台」で数学の歴史やトピックスがそれぞれの単元で紹介されている。生徒が数学と自分たちの生活との関連について興味・関心が持てるようにしている。
- ・「ひろげよう」「身のまわりへ広げよう」では、数学を活用する態度の育成と有用性を実感できるようにしている。
- ・言語活動を充実させることができるように、話し合い、説明、ノート・レポートの作成等の活動が行えるように工夫されている。
- ・各節ごとにとびらのページがあり、子どもに課題意識をもたせるようにしている。また、全学年で厚紙を使った教材が準備されており、操作活動を通して学習を進める工夫がなされている。
- ・巻末の「力をつけよう(繰り返し練習)」では、多くの問題を準備し、反復練習ができるように配慮されている。

(3) 分量

- ・全学年とも分量は、各単元ごとに偏りなく配慮されており適切な量である。

(4) 使用上の便宜

- ・数学の学習の進め方や教科書の使い方、ノート指導などの学び方についての内容が巻頭に掲載されており、オリエンテーション等で十分な学びの指導ができるように工夫されている。
- ・既習事項を振り返ったり、数学的な見方や考え方を伸ばす内容についてはマークを示すなど、指導しやすいように配慮されている。
- ・「みんなで話し合ってみよう」「自分の言葉で伝えよう」「自分の考えをまとめよう」のところで言語活動を充実させるようにしている。
- ・「ふりかえり算数」で小学校の内容を例示し、小中のつながりを意識した内容になっている。
- ・別冊に本冊で取り上げられている「基本のたしかめ」「章末問題」等の解答を載せ、問題と解答を並べて答え合わせができるように工夫し、家庭での自主的な学習もできるようにしている。

(5) 印刷・製本等

- ・印刷はカラー印刷で鮮明であり、ユニバーサルデザインに配慮(カラーバリアフリーを含む)している。
- ・再生紙、植物油インキを使用し環境にも配慮されている。
- ・無償支給の記載がある。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
理科	4	大日本	新版 理科の世界

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・学習指導要領の趣旨に即し、教科の目標が十分達成できる内容になっている。
- ・内容の程度は、その学年の生徒の発達の段階に適応している。
- ・学習指導要領に示す教科・各分野の目標、並びに内容に示す事項を不足なく取り上げている。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・各単元の内容の関連性や教材入手時期、観察・実験のしやすい時期、発達段階などに配慮して標準的な学習の順番に配している。
- ・「わたしのレポート」の欄で表現力を、「話し合ってみよう」の欄でコミュニケーション能力を指導できるように配慮している。
- ・「話し合ってみよう」という欄を設けて、観察・実験結果をもとに考察し、原理や法則を探究する活動を取り上げている。
- ・「トピック」や「科学史」「くらしの中の理科」の欄がたくさん使用されている。
- ・小学校や全学年の学習内容を示したり、他教科との関連を示したりしている。
- ・単元末に「終章」が設定され、単元で習得した知識を使って考える課題解決学習を通して、活用する力を身につくようにしている。
- ・実験・観察のページの中に「注意！」マークがされており、安全に対する配慮がなされている。

(3) 分量

- ・学習指導要領の定める内容が、授業時数から見て適切に配分されている。
- ・各分野、領域および内容に偏りがなく調和がとれている。
- ・配当時間は、1年 105 時間、2年 140 時間、3年 140 時間で標準時間に合わせており、ページ数は、1年 285P、2年 309P、3年 333P である。

(4) 使用上の便宜

- ・観察・実験の結果が次ページになるように配慮がなされており、中身がすっきりしている。
- ・本文、説明文、挿絵、写真の配列がバランス良く整理され、わかりやすい。
- ・各単元のまとめのページでは、自学自習の便宜をはかるため、キーワード(重要語句)を自分で説明して確認できるようにしてある。

(5) 印刷・製本等

- ・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間、製本の様式材料等は適切である。
- ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、ユニバーサルデザインに配慮している。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
音楽	27	教芸	中学生の音楽

4 選定理由

(1)内容の範囲及び程度

○表現領域、鑑賞領域、[共通事項]に関して

- ・基礎的・基本的な楽曲から、表現を工夫し深く味わうことのできる楽曲まで、生徒の発達段階に対応し、学習指導要領にも適した内容となっている。
- ・音楽文化に対する理解を深め、主体的に鑑賞する能力を高めることができるように、我が国の郷土の伝統音楽や、諸外国の音楽など様々な教材を取り上げている。
- ・「音楽学習 MAP」や教材ごとに[共通事項]に関するアイコンを示している。

(2)内容に関する配慮事項

○表現領域(歌唱・創作)

- ・生徒の心情に合った歌詞及び、豊かなハーモニーを味わうことのできる楽曲が多く掲載されている。一部に伴奏譜も掲載されていることから、ピアノ伴奏を意識しながら合唱できる。また、変声期の男声の音域に配慮した楽譜を掲載している。
- ・共通教材には、我が国の文化や日本語の持つ美しさを味わえる楽曲が取り扱われている。また、縦書きの歌詞や情景を表した写真、作詞、作曲家の紹介が掲載されている。
- ・発声や指揮法、創作の教材は、活動の手順がきちんと示されている。また、言葉や音階の特徴を基に旋律を作る活動や、イメージを持って音楽を作る活動ができるように配慮されている。
- ・「ここが分かれば Grade up」「Let's Create」のように、言語活動に留意した活動的、体験的な教材が示されている。

○鑑賞領域

- ・我が国郷土の音楽や、世界の様々な音楽が掲載され、幅広い鑑賞活動ができる。
- ・生徒自身が選択し、曲の良さについてプレゼンテーションを行うなど、言語活動に留意した教材が示されている。

(3)分量

- ・全歌唱教材68、鑑賞教材22、創作教材9と、それぞれ教材が豊富で、学年間のバランスも良く、授業時数に照らしてもその分量は適当である。

(4)使用上の便宜

- ・全ての教材に学習目標と共通事項に関するアイコンが記載されていることで、「何を目標に」「何を学ぶのか」を意識して活動させることができる。
- ・音楽著作権については、特集で分かりやすく説明している。
- ・「この頃、日本では」「アカペラの語源」等の発展的な学習内容は、目次や本文タイトルに記載されている。

(5)印刷・製本等

- ・印刷は鮮明で、字体、行間、糸綴じ製本、材質ともに適切である。文字や楽譜が若干小さめだが、行間を広げて見やすくしている。

3 選定した教科用図書

種目	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
音楽(器楽)	27	教芸	中学生の器楽

4 選定理由

(1)内容の範囲及び程度

- ・リコーダー、ギター、和楽器5種類、打楽器を取り扱う内容で、各楽器の特徴や奏法を分かりやすく理解できるようにしている。
- ・様々な角度の写真に掲載し、楽器の構え方や指の使い方等、分かりやすく理解できるように表記されている。
- ・アンサンブルセミナーでは、合奏曲の導入としてポイントを吹き出しで助言するなど主体的に活動できるための支援がされている。
- ・各楽器の技能の高め方をスモールステップで提示するなど、関心や意欲を持たせて主体的に学習を進めるための工夫がされている。

(2)内容に関する配慮事項

- ・音楽マップや学習の窓口で、各教材の学習ポイントを確認できる。
- ・生徒が主体的に取り組めるように、「Q&A」形式の説明や「音を聴いて確かめよう」、 「練習のポイント」など、関心を引き出す工夫がされている。
- ・アンサンブルセミナーでは、楽曲ごとに学習目標が示され、共通事項に関連させて、課題をもって練習に取り組めるようになっている。
- ・和楽器について、実際の練習に使えるような説明があり、奏法・音色等の特徴が分かるように具体的に記載されている。

(3)分量

- ・演奏用教材として、リコーダー15、ギター3、箏3、三味線1、篠笛2、太鼓1、尺八1、が掲載され、12種類の打楽器が紹介されている。
- ・リコーダーでは前半の基礎編が、レベルも適切で一斉指導ができるようになっている。後半の合奏曲は12曲取り上げてあり、基礎と応用のバランスもよくとれている。

(4)使用上の便宜

- ・楽器と奏法の説明には、演奏家の写真やメッセージが掲載され、現在活躍中の演奏家がモデルとなっており新鮮である。
- ・演奏する楽器や曲ごとに目次が色分けしてあり、ページ毎に目標設定ができる。

(5)印刷・製本等

- ・色、楽譜、写真配置等が適切で印刷は鮮明である。
- ・糸綴じをしてあるので、本を開いた状態が保てるため演奏中でも楽譜が見やすい。

3 選定した教科書

教科書 種 目	発 行 者 の		教科書名（シリーズ）
	番 号	略 称	
美 術	1 1 6	日 文	美術 1 美術 2・3 上 美術 2・3 下

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・ 3年間を通して、自己、生活、社会・自然・環境というステージで学習できるようになっている。
- ・ 3年間で系統立て、生徒の発達段階に応じた内容になっている。
- ・ 絵画や彫刻、デザインや工芸、鑑賞など、全体的に、領域のバランスが取れた構成になっている。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・ 「学びのねらい」「POINT」「作者の言葉」等が整理されており学習のめあてが明確である。
- ・ 「共通事項」、言語活動の充実、道徳との関連性などに配慮できている。
- ・ 日本と日本以外の作品とを比較しやすい構成になっており、自国や他国の文化やグローバル化の視点を持たせる内容になっている。
- ・ 美術 1 は、小学校からの連続性を意識し、造形体験を生かした活動や身近な生活に根ざした学習内容になっている。美術 2・3 下では、自己の成長を振り返り、生涯学習へのつながりを持たせている。
- ・ 生徒作品や生徒の活動場面の写真等身近な資料が多く、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。
- ・ 生徒による自身の作品についての解説があり、言葉で伝え合うなど言語活動が意識されている。
- ・ 刃物の使い方等、安全面への配慮が見られる。

(3) 分量

- ・ 各領域毎の内容量のバランスが良く、適当である。

(4) 使用上の便宜

- ・ 発達段階に応じて内容が整理され、三冊構成になっている。
- ・ 生徒の制作の様子やアイデアスケッチなどを掲載し、題材の参考例が豊富である。
- ・ 写真や図版が鮮明でみやすく整理されている。
- ・ 「作者の言葉」がわかりやすく、すべての生徒の関心を引く配慮がなされている。
- ・ 鑑賞の資料及び技法や色彩などの巻末資料が充実している。
- ・ カラーユニバーサルデザインに配慮されている。

(5) 印刷・製本等

- ・ 本のサイズが A4 ワイドで、図版が見やすい。
- ・ 伝統芸術の見開きページで和紙を使用し、質感からの鑑賞活動ができるようにしている。

3 選定した教科用図書

種目	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
保健体育	224	学研	新・中学保健体育

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・ 体育分野・保健分野ともに学習指導要領に示された内容となっている。
- ・ 日常生活と関連させ、生徒の発達段階に即した内容となっている。
- ・ 基礎的・基本的な知識や技能の定着と今日的な課題も取り上げて、生徒の興味・関心を高める内容となっている。
- ・ 健康や生涯にわたるスポーツライフ実現のための基本的な記述、構成となっている。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・ 各章の始めに領域と関係のある「ひと」や「職業」を示し、学習内容と関連させている。
- ・ 1単位時間を意識した構成で、各項目で「学習の目標」を提示し、「エクササイズ」や「活用しよう」を配し、生徒が答えたり、話し合ったり、さらに深めたりする学習活動を提供することで、思考力・判断力などを育成する内容となっている。
- ・ 保健分野では各章のはじめに「小学校で学習したこと、高校で学習すること」の関連を示している。
- ・ 章末には「探究しよう」「章のまとめ」を配し、学習の振り返りや発展的な学習を行わせる。また、テスト形式の問題で、学習内容が確認できるよう構成されている。
- ・ 教科書の使い方を丁寧に示しており、たくさんのマーク(コラム、リンク、探究、実習等)を用い、学習内容を深めたり、発展させたりできるように配慮されている。
- ・ 実技の動きを示す部分には、写真を多く使用している。

(3) 分量

- ・ 体育分野「体育理論」：内容(1)(2)(3)は各3項目。
保健分野：1年内容(1)8項目、2年内容(2)及び(3)14項目
3年内容(4)14項目
- ・ 口絵：6ページ ・ 巻末3ページ
- ・ 索引：4ページで437語

(4) 使用上の便宜

- ・ ページ：左右下部 ・ 目次：表紙裏面に見開き
- ・ 資料：本文と挿絵や写真がほどよく配置されている。
- ・ 適度にふりがながつけられている。

(5) 印刷・製本等

- ・ 表紙の状態：艶あり ・ カラー印刷B5版
- ・ 紙質：白色 上質の用紙

3 選定した教科用図書

種目	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
技術・家庭	9	開隆堂	技術・家庭 技術分野

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・学習指導要領に対応した構成になっており、学習指導要領に適合した内容となっている。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・「基礎的・基本的な知識や技術を習得」「学習を振り返る自己評価」「循環型社会・持続可能な社会の実践」「技術の発達や伝統文化の理解」「情報モラルの充実」などをもとに編集しており、生活の課題と実践を位置づけ、思考力・判断力・表現力を育成する上で必要な言語活動の充実に配慮した内容になっている。
- ・ガイダンスでは、「技術分野で学ぶこと」「技術を見つけよう」「技術とわたしたちの生活」「学習の見通しをもとう」を各1ページずつ設けた内容になっている。また、最後に「技術分野の出口」という項目を設け、学習したことをどのように生かしていくか考える内容になっている。
- ・「A 材料と加工に関する技術」では、製品の内容を「木材による製作」と「金属・プラスチックによる製作」の2つに分けて記述し、同じ材料での作業の流れが分かるような内容になっている。また、技術を適切に評価し活用することについて、ワークシートを設けて社会的側面、環境的側面、経済的側面で評価する内容になっている。さらに、設計や計画を検討・工夫できるように示している。
- ・「B エネルギー変換に関する技術」では、エネルギー変換効率をいかに高めるかを考えさせる内容になっている。また、自転車のライトを例に、ローラ発電機とハブ発電機の明るさや回転に要する力を比較する方法が示された内容になっている。
- ・「C 生物育成に関する技術」では、トマトの実習例を通して、栽培技術の基礎的・基本的な知識・技術を示す内容になっている。そして、キク、ハナショウブ、ダリアを例にさまざまな繁殖方法を示した内容になっている。また、土のリサイクルや土づくりの内容を設けて、作物を収穫した後の管理について学習できる内容になっている。
- ・「D 情報に関する技術」では、情報セキュリティの内容と情報モラルの内容に分けて記述している。また、情報通信ネットワークに潜む危険性を上げたり、それを防いだりする内容になっている。さらに、情報を扱ううえで、必要なルール・マナー・モラルなどでは、身近な例を取り上げた内容になっている。計測・制御の学習でも、身近な例をもとにフローチャートなどで表し、理解しやすい内容になっている。巻末には、今後ICT教育で活用されるタブレット端末が記述されている。

(3) 分量

- ・B判で総ページ270ページである。
- ・ガイダンス18ページ、A材料と加工に関する技術72ページ、Bエネルギー変換に関する技術44ページ、C生物育成に関する技術40ページ、D情報に関する技術68ページであり、その他に、目次2ページ、技術の出口6ページ、巻末資料12ページ、索引2ページ、口絵5ページ、著作者等1ページである。

(4) 使用上の便宜

- ・14種類のマーク(発展、豆知識、参考、ふり返りなど)を用いて、学習効果が高められるようになっている。
- ・各ページに「学習の目標」を設けている。

(5) 印刷・製本等

- ・全ページカラー印刷で環境に配慮した用紙やインキを使用している。三年間の使用に十分に耐える。

3 選定した教科用図書

種目	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
技術・家庭	2	東書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野

4 選定理由

(1) 内容の範囲および程度

- ・学習指導要領に適合しており、配列に独自性がある。
- ・基礎的・基本的な内容から応用・発展的な内容へ系統的に展開している。

(2) 内容に関する配慮事項

① 全体

- ・各項に学習目標を示している。
- ・各項に「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「まとめよう」「生活に生かそう」など、学習活動の導入や終末段階で活用できる課題が提示され、言語活動の充実を図っている。
- ・数多くの写真やイラストにより、生徒の思考を助ける工夫をしている。
- ・編の最後に「学習のまとめ」として学習の振り返りをし、学習内容を今後の生活に生かす工夫をしている。
- ・多数のページの下部に「Q&A」があり、生徒の知識を広げる工夫をしている。
- ・道徳や各教科との関連を「他教科」として示している。

② 小学校との関連

- ・編の最初に、「この編で学ぶこと」や小学校の既習事項をまとめており、小学校での学習をもとに見直しをもって、学習に臨めるように工夫をしている。

③ A 家族・家庭と子どもの成長

- ・幼児との触れ合い体験に関わる内容を記載しており、3パターンの活動事例を示している。
- ・おもちゃやおやつ作りなどの実習例は、学校の実態に応じて活用しやすい。

④ B 食生活と自立

- ・調理実習の手順が見開きで横の流れで示している。
- ・調理実習では、単品の組み合わせの例や配膳例など多種多様のメニューを掲載している。

⑤ C 衣生活・住生活と自立

- ・衣生活と住生活の実習では、8つの題材で、多様な授業形態に対応できるようにしている。

⑥ D 身近な消費生活と環境

- ・環境に配慮した消費生活の内容が示されており、環境アクションプランを設定して、家族や自分にとできることを考え、実践できるようにしている。

(3) 分量

- ・「A」は50ページ「B」は80ページ「C」は74ページ「D」は27ページで授業時数から見て適切である。

(4) 使用上の便宜

- ・教科書の最後に「学習を終えて」を記載し、復習に役立てられるようにしている。
- ・「食品成分表」は食品ごとに交互に2色で色分けしている。
- ・イラストは、背景に色をつけ、輪郭がはっきりしている。
- ・写真を使って具体的に説明している。
- ・実習例を多く示して、実践的・体験的学習につながるようにしている。
- ・基礎技能を示し、実践に生かすことができるように配慮している。

(5) 印刷・製本等

- ・サイズはA4判である。
- ・全ての生徒の色覚特性に適応するようデザインしている。
- ・環境に配慮し、再生紙・植物油インキを使用している。
- ・全ページカラーで印刷している。

3 選定した教科用図書

種目	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
外国語	9	開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・ 3年間を通して、教科の目標達成に結びつく内容になっている。
- ・ 内容の程度は各学年の生徒の発達段階に適切である。

(2) 内容に関する配慮事項

①小中の接続

- ・ 第1学年の入門期は、**Let's Start** で小学校外国語活動の振り返りをしながら、中学校での英語学習にスムーズに取り組むことができるようになっている。また、文字言語の取り扱い、聞くこと、発音することなど活動することから始め、文字言語へ接続するような細やかな配慮がみられる。

②題材・内容

- ・ 日常・学校生活、職業体験、ボランティア活動、国際理解、自国の伝統文化・異文化理解、自然科学、平和、福祉などを取り扱っている。
- ・ 道案内では、福岡市の地下鉄が取り上げられている。

③単元構成

- ・ 1セクションを2時間で進めるよう想定されている。まず、**Basic Dialog** で言語材料を使用場面で理解できるよう会話形式で提示し、**Listen→Speak→Try** の活動を通して習得し、本文読解でさらに理解を深め、4技能をバランスよく育成できる構成になっている。

④言語活動の取り扱い

- ・ 各学年3か所に **My Project** が設定され、日頃の学習の到達目標が明示されている。**My Project** 達成のために **Program** が設定され、毎日の学習を積み重ねて、総合的にコミュニケーション力を育成するものとなっている。
- ・ 4ページで、モデル文→構成を理解→プランニング→プレゼンテーションと、細やかな手立てがあり、生徒・指導者がそのまま使用してコミュニケーション活動に取り組めるよう構成されている。必ず協働的学習を行うよう設定されている。

⑤Can do リスト

- ・ 4技能について3学年分が設定されている。どの学年にも巻末に3年間分のリストがついているので、3年間を通じて、何をどうできるようになればよいか、なったのかを生徒が自分でチェックできるようになっている。

⑥その他の特徴

- ・ 「英語のしくみ」で文法事項がわかりやすくまとめられており、生徒が学習事項の理解度・定着度を確認できるようになっている。
- ・ 第1学年では、使用頻度の高い動詞を活動しながら習得できるよう、切り離して使える絵カードが添付されている。

(3) 分量

- ・ 新出単語数は、第1学年(10課528語)、第2学年(11課420語)、第3学年(9課299語)、総計1247語取り扱われており、発達段階にあわせて無理なく指導できるように構成されている。
- ・ 本文総語数、新出単語は学習指導要領に準じ、適切である。

(4) 使用上の便宜

- ・ 全学年とも、単元にあった、親しみやすいイラストや写真が扱われており、本文の内容を理解しやすくなるように工夫されている。

(5) 印刷・製本等

- ・ 印刷は、カラーの写真・イラストも含め鮮明で見やすい。
- ・ 製本は、見開きAB判で使いやすく、丈夫である。

5. 委 員 名

(1) 第九地区教科用図書採択協議会

会 長	安 田 昌 則	大牟田市教育委員会	教育長
副会長	待 鳥 博 人	みやま市教育委員会	教育長
監 事	平 山 浩 一	大木町教育委員会	教育長
委 員	沖 毅	柳川市教育委員会	教育長
委 員	記 伊 哲 也	大川市教育委員会	教育長

(2) 選定委員会（総括部会）

(小学校選定委員会)

委員長	大牟田市立天領小学校	古賀 信弘
副委員長	みやま市立岩田小学校	松尾 俊治
委員	柳川市立柳河小学校	橋本 秀博
委員	みやま市立清水小学校	井形智恵子
委員	大牟田市立高取小学校	古庄 健次
委員	大川市立木室小学校	宮崎 隆行
委員	大牟田市立三池小学校	大膳 誠司
委員	大川市立宮前小学校	下川 勝彦
委員	大牟田市立天の原小学校	堤 さゆり
委員	柳川市立皿垣小学校	福浦 徹
委員	柳川市立城内小学校	松中 好江
委員	大木町立木佐木小学校	栗原 茂雄
委員	柳川市立垂見小学校	古賀 知恵
委員	柳川市立藤吉小学校	野田 真功
委員	柳川市立豊原小学校	中村 学
委員	大牟田市立駛馬小学校	萩島 弥穂
委員	大木町立木佐木小学校	川村ひとみ
委員	大牟田市立銀水小学校	中野 一成
委員	みやま市立水上小学校	野口 易子
委員	みやま市立江浦小学校	松尾祐三子
委員	柳川市立昭代第一小学校	待鳥高司郎
委員	柳川市立二ツ河小学校	板橋 和宏

(中学校選定委員会)

委員長	大牟田市立松原中学校	長 裕二
副委員長	みやま市立高田中学校	横山 浩志
委員	柳川市立柳南中学校	大淵 祐二
委員	大牟田市立歴木中学校	原 正和
委員	大木町立大木中学校	庄司 保浩
委員	みやま市立高田中学校	井口ルミ子
委員	柳川市立大和中学校	酒見 哲
委員	柳川市立昭代中学校	菅原 幸典
委員	大牟田市立宮原中学校	野田 環紀
委員	みやま市立瀬高中学校	姉川左希子
委員	みやま市立瀬高中学校	樋口 貴文
委員	大川市立三又中学校	後藤 繁生
委員	柳川市立三橋中学校	目野 幸光
委員	大牟田市立田隈中学校	末永 徳仁
委員	大牟田市立白光中学校	坂本美也子
委員	大川市立大川中学校	山田 啓祐
委員	大川市立大川東中学校	古賀 孝志
委員	大牟田市立宮原中学校	杉野 浩二